

## 第 427 回 例 会

22年9月3日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 河田 英子 会員 「心育て Part 12」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンスルーム」
- ・第3回理事会 13:40～ 4階「桂の間」

## 次回(9月10日)のプログラム

- ・USJ例会(夜例会)
- 時間 17時30分～19時30分
- 場所 USJ内レストラン「ロンバーズ・ランディング」

## 9月のお誕生日

- 10日 笹田 隆志 会員
- 26日 榎本 仁 会員

## 9月の創立記念日

- 1日 幸和金属(株) 大屋 準一 会員
- 11日 (株)アップサイド 小山田 光正 会員

## 9月のメニュー

- 3日 洋食 (薄切り肉のタタキ風・秋刀魚の香草パン粉焼き 他)
- 10日 USJ例会
- 17日 シーフードカレー
- 24日 休会

## 先週(8月27日)の例会報告

## ■会長の時間

ロータリー海外支援活動として「水不足に苦しむアフリカに対し井戸を掘るプロジェクト」がありますが、その後日談としてロータリアンが殆ど知らない「井戸の利権をめぐる部族間の争いが勃発」という驚愕の事実が過去にあったことを、川上パスト会長の前回卓話で知りました。確かに「井戸完成＝一話完結」となり、その後現地を訪れることはないため知る由もありませんが、折角の善意が無駄にならぬよう、一時的な自己満足でなく長期的にも相手が恩恵を受けられるよう、「奉仕のあり方」について考えさせられる内容でした。

今から40年程前、乳幼児死亡率が高く、平均寿命20代後半のアフリカのある未開の村を欧州の医療ボランティアチームが調査に訪れ、死亡原因の究明、病気治療、衛生指導、ワクチン接種など予防治療を行った結果、乳幼児生存率向上、死亡率激減、衛生環境も改善、現地の人々に大変感謝されプロジェクトが終了しました。その後25年たち別チームが村を訪れたところ、村には誰一人おらず、当時人口100人ほどの村に2000体もの遺骨が発見され、中には鈍器で殴られ頭蓋骨陥没の遺体もあり話題となりました。つまり疫病等で100人ほどしか生きられなかったものの、その村には100人が生活する水と食料しかなく、人口増加による食糧不足や、疫病ではなく人間同士の争いで命を落としたのです。現在ロータリーとして「ポリオ撲滅」に力を注いでいますが、同時にこうした人口増加による食糧問題解決(農地開拓、農業や収入源増の自立スキル指導)もセットとなってこそ真の奉仕活動と感じました。

最新式の高額な救急車を寄贈しても機器取扱の指導やメンテのファローが不十分だった為、有効活用されず数年後「単なるバス」として使われているケースもあるので「寄贈して終了ではなく、操作やメンテの楽な旧型のマシンを寄贈、操作を指導するプロジェクト」の方がよっぽど長期的に自力生産を生む重要なボランティアなのです。当クラブが誇る「ロータリーXmas」に関して城村先生のお話を最後に・・・「一回限りが多い中で、継続ボランティアをしていただくのは大変貴重で毎年楽しみにしています。8割近くの子供達が家庭内暴力を理由で入ってきますが『施設の外にも優しい大人がいるんだあ! 来年もあのおじちゃんに会えるかなあ!』と彼らの心の癒しになっています。第1回参加の女の子が結婚で巣立って挨拶に来ましたが『毎年本当に楽しかった』と懐かしがっていました。欲を言うならば、子供達が将来『USJ』に連れてってくれたロータリーのおじちゃんの会社に就職したよ』と・・・毎年の1日だけでなく、巣立った後も温かい目でフォローいただけるとう本当に嬉しいです。みんな本当に明るくい子達ですから・・・」

【来客紹介】 0名

【出席報告】

22年8月27日(第426回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
27名	1名	17名	9名	65.38%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】 1)USJ例会のお知らせ

**ニコニコ箱(8月27日)**

秋山 千尋 =本日10周年記念式典打合せ会。

まだまだ来年だからという余裕を考えると、あつという間にあわてる事になるのでしょうか。

東 健三 =相変わらず暑いですね。もう暫くの辛抱です。体調を崩さぬようにお願いします。

河田 英子 =残暑にうだりながらもあと数日で9月です。幼稚園も新学期を迎えます。健康に感謝します。

森本 良嗣 =最近、二軒隣におもしろい魚屋さんがオープンしました。お付き合いのこと『天然ウナギ有ります』との事なので頼んでいたんですが、朝一番に元気なウナギを持って来て「宍道湖から良いのが入りました」の事。夕方には白焼きにして届けてくれるそうです。味見して又報告します。

斧原 邦夫 =相変わらずお暑いです。昨日は小学生時代のクラス会がありました。

本当に久しぶりに童心に戻り楽しい一日でした。今後に活かしたいと思います。

大屋 準一 =今日は「寒いですね」4ヶ月後のあいさつの練習をしてみました。少しは涼しくなりますかね？

豊島 秀郎 =けいつい症で左肩から左手がしびれています。

吉田 正信 =一昨日あたりから夕方涼しい風が吹くようになりました。秋を感じます。わが妻とも秋を感じます。

【SAA報告】

ニコニコ箱	本日計 8000円	今年度合計 3703616円
-------	-----------	----------------

**クラブフォーラム(8月27日)**

会員増強委員会 森本 良嗣 委員長

- 1.ロータリーの会員数は全世界で14年連続減少している
- 2.前年度も27名スタート。今年度も27名スタート。地区純増1名
- 3.10周年に向けて
- 4.『夏の炎天に秋の稔りを見い出す』（会員増強やってください）

5.何故会員増強は必要なのか

=新しい会員の獲得=

すべての組織は、自然に任せておくと、高齢・病気・死亡・転勤・人間関係の軋轢などで減少。  
 どんな組織でも、会員減少は死活問題。多くなれば互いに触れ合う摩擦熱で組織は活力や魅力を増す。  
 その発する磁力により新たな人を呼ぶ。

会員を増やすことは、組織の体力を強化し、財政基盤を確立し、充実した奉仕活動を可能に。

良質な市民をより多く。

組織をいつも生き生きさせておくため、常に新しい人材の導入が必要。ロータリーの最大の財産は『会員』  
 優秀な人材という財産なくして、ロータリーの崇高な理想の実現はない。

会員を増強することは、ロータリーの未来を託す人材を得ることに。

我われは次代への責任を果たすことに。 会員増強は【ロータリアン最大の奉仕】

6.秋の稔りを見い出す具体策

- ウエルカム例会 11月12日(金)夜 ……全会員がお1人1名以上お連れいただく
- ロータリーXmas 12月4日(土) ……1人でも多く新しいお仲間をお連れいただく

7.11月12日(金) ウエルカム例会お誘いのお願い

・単なる社交クラブではなく、ロータリーは奉仕団体です。とお話し戴く。

8.どのような方にお声かけしていただくか

【会員になっていただきたい方】

- ・既に完成された人物でなく、会員として活動する中から素晴らしい職業人、社会人となることを考慮できる方
- ・他人の為に奉仕できる人
- ・将来性のある人
- ・女性を含む異業種の方もおねがいします  
 女性は社会の重要な担い手で、欠くことのできない原動力(華やか、明るい、粘り強い、斬新なアイデアとエネルギーを持つ)

【入会対象者 etc】

- ・元会員家族 ・JC/商工会議所、商工青年部とOB、議員
- ・法人会役員 ・各種奉仕団体会員 ・教員、公務員、その退職者
- ・GSE ・国際親善奨学生、米山奨学生、RAなどのOB

- ・会員の知人、友人、先後輩、取引先
- ・ベンチャー企業経営者
- ・転勤会員のバトンタッチ

(当クラブの魅力の一つとして、多様性に富んだ方々にお声をかけて下さい)

9.「しかたない、にわか作りでも理想のロータリアン」になり切って！

【理想のロータリアンとは】

- ・ロータリアンは人間的にも職業人よしても素晴らしい
- ・会員企業であれば信頼でき安心
- ・あんな人になりたい、あんな人のいる組織に入りたい

10.愛情と熱意をもって執拗に！！(安売り、押し売りではない)

～エピソード～

友人から誘われ断り続けていたが、諦めずに誘い続けてくれ、今は心から感謝している (1982～83年度 向笠広次RI会長 談)

11.お招きした方を大切に！ ～私達の心の成長と会員維持

＝新会員を退会させない！＝

- \* 入会前のオリエンテーション(歴史・会員のメリット・責務・奉仕の機会など)を
  - \* ロータリー情報の徹底
  - \* 推薦者・増強委員・情報委員が温かくフォロー
  - \* 会員の温かい声かけ、歓迎会の開催
  - \* 早期に新会員に相応しい役割・分担を
  - \* 疎外感を感じさせないよう、新会員に居場所と満足感を
  - \* 厳粛で感動的入会式を
- ロータリーを良く知り、価値を見出した人に退会者はいない —

＝出席率・マナーも低下！＝

- ・全国34地区の平均例会出席率も会員減少に正比例
  - 1997～08年度 91.69%      2007～08年度 86.33%
  - \* 例会への遅刻、途中退席が目立ち、卓話中の私語、居眠りも多い
  - \* 他クラブへのメークアップもサインの場所を。中には代筆まで
- (ロータリアンは周囲の人に喜び、楽しみ、感動を与えるマジシャン！)

最後に:心の成長から魅力ある入りたいロータリークラブを目指して共々頑張ってまいりましょう。

(少々、5月29日のクラブ奉仕・会員増強セミナープログラムを引用有)

おわり

(入会式の一例) 入会にあたって

〇〇〇〇 君

この度、あなたをわがロータリークラブの会員、私たちの家族、世界のロータリアンの仲間として迎えました。

会員一同、心から歓迎します。

ロータリーの理想は奉仕と親睦であり、モットーは「超我の奉仕」です。私たちロータリアンは自らの職業の倫理観を高め、切磋琢磨して社会に貢献することを念頭に日々努力しています。

あなたを迎えるにことにより、クラブの魅力と勢いを更に増すこととなります。共に手を携え、明るい豊かな郷土のため、更には平和な国際社会実現を目指し、互いに頑張りましょう。

ここに、ロータリアンの誇りを象徴する徽章をあなたに贈呈し、入会を歓迎します。 2010年〇月〇日

〇〇 ロータリークラブ 会長 〇〇〇〇

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立:2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL:070-5020-6459

会長:斎藤清貴 幹事:三宅一郎 会報担当:大橋高志 例会:毎週 月曜日12:30～13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか